

平成27年度 第12回 川崎ものづくりブランド 認定製品・技術候補 一覧

(会社名五十音順)

スラブ開口部スライド補強筋 BOX「セルボン」



【会社名】

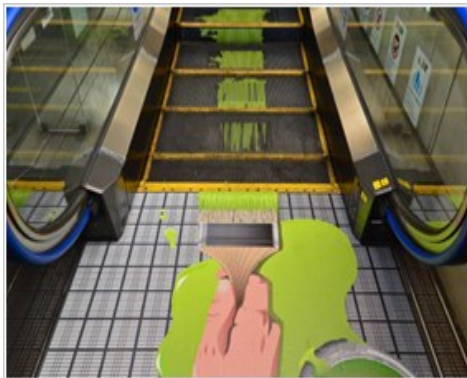
株式会社 アクス

〒210-0847 川崎市川崎区浅田 4-6-7

【認定製品・技術の概要】

- ①建築現場において、下層階から上層階に養生用木材や工具類等を引き上げるために設置する仮設開口ユニット。
- ②従来工法では設置に複数職種工程を要したものを、1つのユニットにする事によって、単一職種での施工が可能となり、工程日数の大幅な短縮や、産業廃棄物の削減を実現した。

エスカレーターグラフィックス



【会社名】

株式会社 アサイマーキングシステム

〒215-0033 川崎市麻生区栗木 2-3-13

【認定製品・技術の概要】

- ①エスカレーターの乗降部分及び蹴込み部分に装飾グラフィックスフィルムの貼り付けを行う技術。
- ②スリーエムジャパンと共同開発した特殊フィルムと、特許取得の施工方法で、凹凸のある接着面に広告を安全に貼付し、広告用途を終えた際には綺麗な剥離を可能にした。

電池式帯電ガン



【会社名】

株式会社 グリーンテクノ

〒213-0023 川崎市高津区子母口 438

【認定製品・技術の概要】

- ①「誰でも、どこでも、静電気を作れる」をコンセプトに開発された電池式帯電ガン。
- ②使用者が放電中の電極に触れても感電しない構造になっており、どこでも安全・安心・簡単に扱える。

eneidea(エネアイデア)



【会社名】

株式会社 近藤工業

〒213-0031 川崎市高津区宇奈根 710-13

【認定製品・技術の概要】

- ①使用目的の消費電力に合わせて、発電容量と電池容量を設計する太陽光を利用したポータブル独立電源システム。
- ②豪雪地帯における電照式警告掲示板の空中電源や農作物の育成促進・害虫対策等、多様な環境下の様々な用途に応じた蓄電システムの設計を手掛ける。

赤外線カメラ温度チェッカー(TGP95)



【会社名】

株式会社 サーモグラファー

〒214-0001 川崎市多摩区菅 1-4-14

【認定製品・技術の概要】

- ①設備診断に用いる赤外線カメラの温度精度のチェックを短時間かつ低コストで簡単に実施できる計測機器。
- ②本製品を活用して点検周期の間隔を短くすることで、トレーサビリティを確保し、計測データの信頼性を向上される事が可能。

真空吸着ツールスタンド



【会社名】

佐々木工機 株式会社

〒213-0006 川崎市高津区下野毛 1-9-33

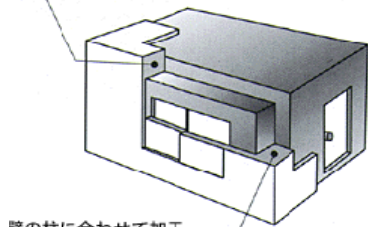
【認定製品・技術の概要】

- ① エアコンプレッサーの圧縮空気を利用した測定用ツールスタンド。
- ② 小型かつ軽量のためどの位置でも固定が可能で、石定盤やセラミック定盤の上でも高い吸着力を保持しながら使用することができ、作業性を大幅な向上が可能。

組立式防音室「ミュージックキャビン」シリーズ



天井の梁に合わせて加工



壁の柱に合わせて加工

【会社名】

高橋建設 株式会社

〒216-0032 川崎市宮前区神木 1-7-8

【認定製品・技術の概要】

- ① 産学連携により得た音響工学の知見と、それに基づく防音技術により開発された組立式防音室。
- ② 一貫した設計施工管理システムの下、独自開発された剛性の高い壁パネルを、予め工場加工製作してから現場で組み立てることで、短期間での施工を実現。

フロッピーディスク変換アダプタ



【会社名】

デンセイシリウス 株式会社

〒213-0011 川崎市高津区久本 3-9-25

【認定製品・技術の概要】

- ① 生産終了となったフロッピーディスクドライブの代替として使用することが出来る記録媒体読取装置。
- ② コンピュータ等のハードウェアと、それを制御するソフトウェアの変更を行うことなく、SDカードをそのままフロッピーディスクとして使用可能。

環境配慮型防滑樹脂「マルチグリップ」シリーズ



【会社名】

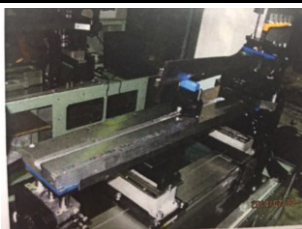
株式会社 ホリコー

〒213-0011 川崎市高津区久本 3-3-2

【認定製品・技術の概要】

- ①オリジナルの樹脂材を設計し、独自のノウハウで開発された耐久性の高い防滑材。
- ②溶剤を使用しておらず、環境にも配慮した製品で、用途別に対応出来るすべり止め材料として幅広く採用されている。

モーメント測定器



【会社名】

株式会社 メジャーテックツルミ

〒210-0834 川崎市川崎区大島 2-7-10

【認定製品・技術の概要】

水力及び火力発電に使われるタービンの羽根の重心位置を測定する装置。二台の秤を備え、一方を固定し、他方を点で接触させるという独自の 방법으로重心位置を正確に測定する。重心位置を正確に測定することでタービンの羽根全体のバランスがとれ、高速回転時における負荷が減少し安全操業につながるほか、エネルギー変換効率の向上にもつながる。